

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●常にソフトのバージョンを最新に保つ人は半数にとどまる - トレンドマイクロ

<http://news.mynavi.jp/news/2014/10/29/078/>
http://www.trendmicro.co.jp/about-us/press-releases/articles/20141023043031.html?cm_re=news-_-corp-_-press



このニュースをザックリ言うと…

- 10月28日、大手セキュリティベンダーのトレンドマイクロ社は、523名のPCユーザに対して9月下旬に実施した「パソコンを利用するうえでのOSやアプリケーションの脆弱性に関する意識や実態」についてのWebアンケート調査の結果を発表しました。

- アンケートによれば、「Adobe Reader」「Java」「Flash Player」の各ソフトウェアそれぞれについて、バージョンを常に最新にしていると回答したユーザは約半数に留まっており、その他「パソコンの脆弱性対策には、ソフトウェアの修正プログラムを適用することが有効」であることを知らないユーザが41.9%等の結果も出ています。

AUS便りからの所感等

- 前述した3つのソフトウェアは、いずれもWindows自体と同様に多くの脆弱性が報告されることは当便りでもしばしば触れています。

- アンチウイルスやUTMによる、脆弱性を突くマルウェアからの防御はあくまでアップデート漏れ等からPCを守るための二重防御策と考え、各ユーザがPC上にインストールしているソフトウェアの存在と、それが最新バージョンかどうかについて確認を行い、適宜アップデートを行っていくよう確実に意識をはたかせることが重要です。

トレンドマイクロについて

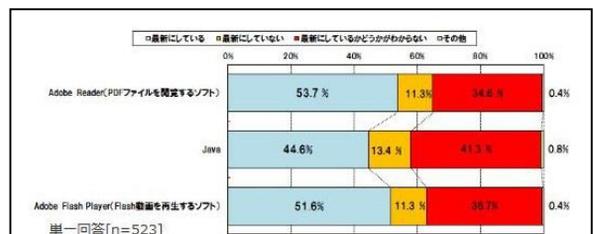
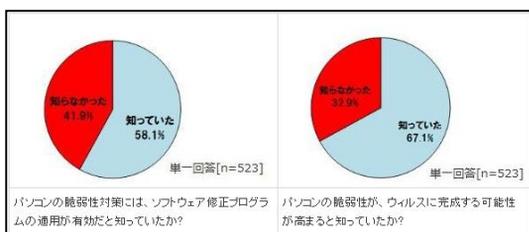
プレスリリース

一人パソコンユーザの脆弱性に関する実態調査 2014

4割以上が脆弱性の対策に修正プログラムの適用が有効だと知らないソフトウェアのバージョンを常に最新にしているのは約半数

2014年10月28日

トレンドマイクロ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長兼CEO:エバ・チェン、東証一部:4704 以下、トレンドマイクロ)は、パソコンの利用者523名を対象に、パソコンを利用するうえでのOSやアプリケーションの脆弱性に関する意識や実態についてWebアンケート調査(調査期間:2014年9月24日から25日まで)を実施しました。本調査において、回答者の4割以上が、脆弱性の対策に修正プログラムの適用が有効だと知らないことと知らなかった。また、ソフトウェアのバージョンを常に最新にしているのは約半数であり、ウイルス感染や不正アクセスの原因となる脆弱性に対する理解や、脆弱性への対策が浸透していない実態がわかりました。結果の概要は以下の通りです。



●有名ゲーム等を真似た偽のiPhone有料アプリに注意

<http://www.yomiuri.co.jp/it/security/goshinijyutsu/20141017-OYT8T50103.html>



このニュースをザックリ言うと…

- Web上で人気のあるゲーム「Akinator」のiPhone版有料アプリ「Akinator the Genie」に、偽物のアプリ「Akinator Genie」が登場したと話題になっています。
- これ自体はユーザを騙して購入させる以外に不審な行動をとらない模様ですが、iPhoneやAndroidのアプリストアには、個人情報盗み取ったりするような偽のアプリが氾濫しており、有名アプリ上位の実に約8割に偽物アプリが存在するとされています。
- 記事では、「ダウンロード前に配布元・レビューを確認する」「メール等にあるリンクからはダウンロードしない」あるいはスマートフォン向けセキュリティ対策アプリを導入することを推奨しています。

AUS便りからの所感等

- 既にスマートフォンアプリでは、PC向けで著名なアンチウイルスソフト等のスマホ版も存在しますが、万が一、効果もなくスマホ上の情報を盗み出すような偽物を掴まされては元も子もありません。
- スマートフォンに限らず、PC上の有名なソフトウェアの名前で検索すると、大元のダウンロードサイトではなく、本物のソフトウェアと一緒にスパイウェアをインストールさせようとするサイトに上位に現れるケースも珍しくありません。
- 偽物アプリやスパイウェアがスマートフォン等に入り込まないよう、情報収集を行い、慎重に行動することが重要です。



人気の「Akinator (アキネーター)」(アプリの正式名は「Akinator the Genie」)をまねた有料の偽アプリ。

本家の名前から「the」を抜いた「Akinator Genie」という名前で販売されている。

●Webサイト改ざん、別のサイトのフィッシング目的か

<http://mainichi.jp/select/news/20141030k0000m040115000c.html>
<http://security-t.blog.so-net.ne.jp/2014-10-30-1>



このニュースをザックリ言うと…

- 10月29日、産経新聞社は、同社が運営する医療・健康情報サイト「産経health」の内容が改ざんされたとして、サイトを閉鎖したことを発表しました。
- 公式の発表にはないものの、この改ざんにより、大手Webサイトの偽ページが設置されていたとの情報があり、フィッシングの悪用が目的とみられています。

AUS便りからの所感等

- 愉快犯の示威行為から来訪者へのマルウェアの感染の悪用まで様々な用途でなされる「Webサイトの改ざん」ですが、これまでは攻撃者自身がサイトを設置することが多かったフィッシングの手段として用いられるという合わせ技が繰り返されてきた格好です。
- ともあれ、ユーザ側がとるべき対応としては、Webブラウザのセキュリティ機能やアンチウイルス・UTMによる防御をフルに活用するという基本的なものであることに変わりはないでしょう。

ニュース	オピニオン	スポーツ	エンタメ	文化	くらし	教育	特集・連載	地域	En
総合	社会	政治	経済	国際	サイエンス				

PR 審査が通るカードローン? 当日融資今すぐ / 提携

0
 17
 2
 3

産経: 運営サイト、情報書き換えか 不正アクセス被害
毎日新聞 2014年10月29日 22時06分

産経新聞社が運営する医療・健康情報サイト「産経health(ヘルス)」に外部から不正アクセスがあり、情報が書き換えられた可能性が高いことが29日分り、同社はサイトを閉鎖した。

同社によると、29日午前9時20分ごろ、サイトの管理を委託している別会社から「情報が書き換えられている可能性が高い」と連絡を受け、同日午後0時20分、「メンテナンス中」として閉鎖した。書き換え内容や時期は調査中といい、何らかの被害があったかどうか把握できていないという。

同サイトは2010年に開設され、メタボリックシンドロームや小児肥満などの情報を紹介している。閲覧数は非公表。【深津 誠】

関連記事

- * 旅行商品: 健康探求の旅、参加者を募集 - 蒲郡商議所など / 愛知
- * 蒲郡市: 「100日連続で体重測定」健康意識向上 新事業、議会提案へ / 愛知
- * 損害賠償: 使途不明報道で産経新聞を提訴 - 郡山の除染組合 / 福島
- * 行政ファイル: 松山市が特定健診を無料